

学部・研究科等番号・名称： 2. 物理科学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
【評価項目】 I 教育水準 5. 進路・就職の状況 【判断理由】 【原文】 「関係者からの評価」については、進路先において、<u>大学院修了者に関する聞き取り調査した結果、修了者が身に付けたものとして、研究能力、学力、国際性については、高い評価を、研究資質、国際については十分に高い評価を得ている。</u> 【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。 【修正文案】 「関係者からの評価」については、進路先において、<u>大学院修了者に関する聞き取り調査をした結果、修了者が身に付けたものとして、研究能力、学力、国際性においていずれも高い評価を得ており、研究資質、国際性ともに十分に高い評価を得ている。</u> 【理由】 上記原文においては、「研究能力、学力、国際性」と「研究資質、国際」を別物として併記しているように読めるが、当方の表現では、「研究資質、国際性」はその前文の「研究能力、学力、国際性」を指し示す同一のものであるため。なお、物理科学研究科現況調査票（教育）2-10頁4～5行目においても、同一のものという意図で記述している。	【対応】 意見のとおりとする。

学部・研究科等番号・名称： 4. 複合科学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
【評価項目】 Ⅱ 質の向上度 1. 質の向上度 【判断理由】 【原文】 ○「英語プレゼンテーション能力の向上」については、<u>事例1の共通専門基礎科目設置の具体例であるが、実際に学生の英語によるプレゼンテーション能力の向上を測るデータが提供されていない点で、改善、向上しているとは言えないと判断される。</u> 【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。 【修正文案】 ○「英語プレゼンテーション能力の向上」については、<u>学生や社会からの要請への対応として、新たに平成18年度に「英語によるプレゼンテーション科目」を開設するなど、国際化に対応した教育を行っており、教育課程の編成上は、相応に改善、向上している</u>と判断される。 【理由】 本観点は、学生や社会からの要請への対応として、新たに平成18年度に「英語によるプレゼンテーション科目」を開設したことにより、当初の本来の目的であった「教育課程の編成の改善」を図ったことを示したものであって、個々の学生の英語プレゼンテーション能力向上を示したものではないため。	【対応】 原案のとおりとする。 【理由】 事例については、取組が記載されているものの、その成果の記載が確認できず、質の向上度について確認できないため。